



●児童館

- 全案共通
 - 現在は、建設当初の機能・役割を別の施設が担っている可能性があるため、利用者のニーズ調査等を実施し、必要サービスを整理した上で、市として児童館の整備方針を定めてほしい。
 - 民間に任せても良い機能と行政が担うべき機能があると思うが、児童館としての機能を整理し、今の時代に合った運営のあり方を検討してほしい。
 - 安定的な運営を考えると、第三セクター方式のように、市も関与できる運営が望ましいのでは。
 - 利用者数や一人当たりのコストが分からないと案の検討もできない。
 - 坂井輪地域内の子どもたちが歩いて行ける距離にあるべき。
 - 利用者意見から、地域外利用者も駐車場さえあれば、関心のあるプログラムを実施している場所まで行くようであり、今の場所に存続する必然性はなさそう。閉校した学校等の利活用を検討してはどうか。
 - 坂井輪地域内に必要なか、西区内にあれば良いのか。市の方針を検討した上で、議論するべきと思う。
 - 坂井輪地域内に必要だと結論が出れば、西区の誰もが使い易い施設を新しくつくるということも考えられるし、地域の魅力向上になると思う。
 - 様々な年代の子どもやその親の居場所をしっかりとつくるのが大切であり、そのことが地域の魅力にもつながると思うので、お金をかけてでもつくる必要があるかもしれない。

- 働いている親の都合などで、ひまわりクラブ、児童館と遊び場を制限するのではなく、子どもの視点で安全・安心してのびのびと遊べる環境づくりを考えてほしい。
- 利用が少ない平日は、高齢者の居場所づくりの場として開放するなど、他の機能との組み合わせも検討できるのでは。

- 各案
 - 有料のひまわりクラブと併設すると、無料の児童館に流れてしまう恐れがある。現実的には併設は難しいのでは。(A、B案)
 - 「公民館のフリースペースで児童の居場所を確保する」とあるが、誰が責任を持って管理運営するのか。(C、D案)
 - 子育て支援センターを民営化すると、公共性がないと相談しにくいと感じる方もいるだろう。児童館機能の中には、公共が担うことに意味がある内容もあると思う。(D案)
 - 子育て中の親は、関心あるイベントは自ら調べ、様々なイベントに参加している。児童館で取組んでいたイベントも、他の施設に機能分散したり、民営化でフォローできるだろう。但し、本来の児童館の役割は、子育てに悩んでいる保護者の相談に乗り、支援するなどの役割も担っているため、専門的な相談をしたい時に、公共の施設かつ市が運営をしていることが重要だと思う。(D、E案)
 - 児童館機能が公民館に入るの、多世代交流が促進される点で評価(D、E案)
 - 新通小に移転しない場合は、地域外の子どもも通い易いので評価(C、D、E案)
 - 健康センターに児童館機能があるのは良い。健康診断時にも預けられ、保健師もいるので相談し易い。また、区役所を訪れる人が利用できるため、地域だけでなく西区民が利用し易い施設になるのでは。(E案)

●新通小の余裕教室

- 全案共通
 - 余裕教室にひまわりクラブを移転する方針は理解できるが、駐車スペースがない。例えば、現在借地しているひまわりクラブ第2、第3の敷地の一部を駐車場として残せないか。
- 各案
 - 余裕教室の地域利用では、防犯対策として、学校関係と地域利用の出入口は別にしてほしい。(A、B、C案)
 - 余裕教室の地域利用では、音や防犯上の問題、土日利用をどのようにしていくのかなど、運営面で課題が出てくるだろう。学校側も抵抗があると思うので、管理が別となるひまわりクラブ第1を利用したほうが運営面もスムーズに進むと思う。(A、B、C案)

●ひまわりクラブ第1（跡地）

- 坂井輪地域は自治会館のない自治会があるので、現ひまわりクラブ第1の自治会利用や、サークル活動、子どもたちのイベント等に利用できるようにしたらどうか。学校に通う児童と地域との交流の可能性も広がり、地域の活性化や多世代共生・交流にもつながると思う。(D、E案)
- 現ひまわりクラブ第1を地域利用できるようにした場合、駐車スペースの確保が必要である。(D、E案)

●保育園

- 全案共通
 - 移転しなくても、交通安全など現状の課題を解決する方法を探れないか。また、公設公営の方が保育の質の面で安心できると思う。
- 各案
 - 民営化したほうが市の運営費負担がなくなるし、企業努力もする。制約も少なくなることで休日利用の可能性も広がり、サービスも充実することが期待できる。基本的には賛成(A、D案)
 - 民営化には賛成だが、運営の意向がある事業者がいるのかわからないため不安がある。(A、D案)
 - 民営化することで、教材費や制服代など追加で費用負担が発生しないか心配である。(A、D案)
 - 民営化では、採算が合わないでなくなってしまうのではないかと、経営者の意向によって教育方針に偏りが生じてしまうのではないかと懸念がある。また、将来、待機児童が出た場合もきちんと対応してほしい。市は民営化に伴うリスクも見据えて対応してほしい。(A、D案)
 - 建物を2階建てにしたとしても敷地が狭いために駐車場や園庭が不十分だと思うのと、通行人からプールが丸見えで防犯面で不安なので、現地建替えは賛同できない。(C案)
 - 保育園民営化でコストも削減できて更に良いと思う。(E案)

●老人憩の家西川荘

- 全案共通
 - 今は多世代共生の時代であり、役割は一段落したと思うので、市の方針通りで良いだろう。
 - 高齢者に配慮しながら今後のあり方を検討していると思うが、利用者も減少しているのであれば、これ以上存続しなくても良いのではないかと。
 - 高齢者が歩きや自転車で移動できる範囲で交流ができるよう、現在の場所に建てられているので、既存施設に機能を分散すると、遠くに行ってしまうのではないかと心配
 - 入浴機能が強調されているように感じているので、本来の機能について周知した方が良い。
 - お風呂は憩の家の交流の場としての機能の一つの説明があったが、単身高齢者や年金生活者等にとっては、身近な場所にある入浴機能として重要だと思う。
 - 廃止の根拠となる整備方針のデータが、平成18年のもので10年以上経過しているため、最新の利用状況等を把握した上で存続の有無を検討してほしい。
 - 歩いて利用できる方は必要性を感じているという意見があるが、歩いて行けない方たちにとっては、思うように交流機能や入浴機能が利用できない。不便を感じる層が少しでも減るように、それらの機能の分散やアクセス面を担保するなど、根本的な見直しは必要だと思う。
 - 平成18年度の「新潟市老人憩の家運営事業検討委員会」で、「老人専用の施設整備から地域住民による地域づくりの拠点施設整備へ転換すべき」と提言がされているが、対策案では既存の教育施設や子育て施設にも高齢者の交流の場を確保することになっており、運営を市が担当するの、地域が担当するのが曖昧な状態である。自治会でも高齢者の居場所づくりを行っており、どこが担当するか明記してほしい。
 - 高齢者への配慮や交流の場としての機能について検討するだけでなく、今後は元気な高齢者が活躍できる場をつつていく視点も必要だろう。

●その他

- コスト面で考えれば、A案かD案が良いと思うが、まだイメージできていないので、想定通りに便利になるのかという点は疑問(A、D案)
- 評価案を参考にするとD案が良いと思うが、コストは削減できても子どもたちを大切にしたい案ではないような気がしている。コスト削減の視点だけではなく、新施設をつくることも検討しても良いのでは。(D案)
- 施設の長寿命化対策は必要になるので表現は残した方が良い(A、B、C案)
- E案をベースに、保育園を民営化する案が良いと思う。(新たな案)
- ひまわりクラブの運営が社会福祉協議会から他の民間団体に変わった時に、教室の利用を断られたケースもあるようだ。運営主体が変わること、坂井輪でも空き教室を使えなくなる可能性もあるのではないかと。
- どの対策案もコスト削減ばかりが先行し、子どもや高齢者にやさしくないと思う。子ども、高齢者が住み易いと感じる魅力づくりやコンセプトづくりをしていきたい。
- 各評価項目の判定が◎となる案を作ることができるのではないかと。

新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第4号

<発行者>
地域別実行計画
コミュニケーション事務局
西区地域課・財務部財産活用課
(平成31年3月発行)

一緒に考えませんか？ 坂井輪地域のまちづくり ~公共施設のこれから~

坂井輪中学校区では、新通小学校の分離新設校の整備を契機として、公共施設のこれからの考えるワークショップ（WS）を昨年9月から開催し、今年1月で最終回を迎えました。

WSをはじめ、「本広報紙」、「コミュニティ会議」、「パネル型展示説明会」により、地域みなさんから様々なご意見を伺いました。

今後、地域みなさんのご意見をもとに、市が検討を行い、地域の公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」の案が作成されます。ぜひ、本紙をご覧ください。ご意見をお寄せください。

公共施設の今後のあり方について検討を開始しました！



コミュニティ会議とパネル展示型説明会の実施状況！

コミュニティ会議

様々なコミュニティ（自治会や施設など）に、事務局が直接お伺いし、利用者みなさんに詳しい状況をお伝えするとともに、ご意見をお伺いしました。開催状況は下記のとおりです。

- ◆坂井保育園 12/20開催、6人参加（保護者会役員）
- ◆坂井輪児童館 12/21開催、11人参加（利用者）
- ◆自治会 12/19、12/21開催、6人参加（新通小周辺の2つの自治会参加者の合計）



パネル展示型説明会

公共施設などで、WSの検討状況を示したパネルを展示し、地域みなさんに詳しい状況をお伝えするとともに、ご意見をお伺いしました。開催状況は下記のとおりです。

- ◆開催場所：坂井輪地区公民館（エントランス）
- 開催日：12/25（パネル展示は12/21～28）
- 実施方法：パネル展示（19枚）、職員からの説明、意見聴取（意見提出者数：18人）



ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局（西区地域課・財務部財産活用課）

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

メール chiki.w@city.niigata.lg.jp

ワークショップで配布した資料は、市ホームページに掲載しています。

電話 025-264-7161

FAX 025-269-1650



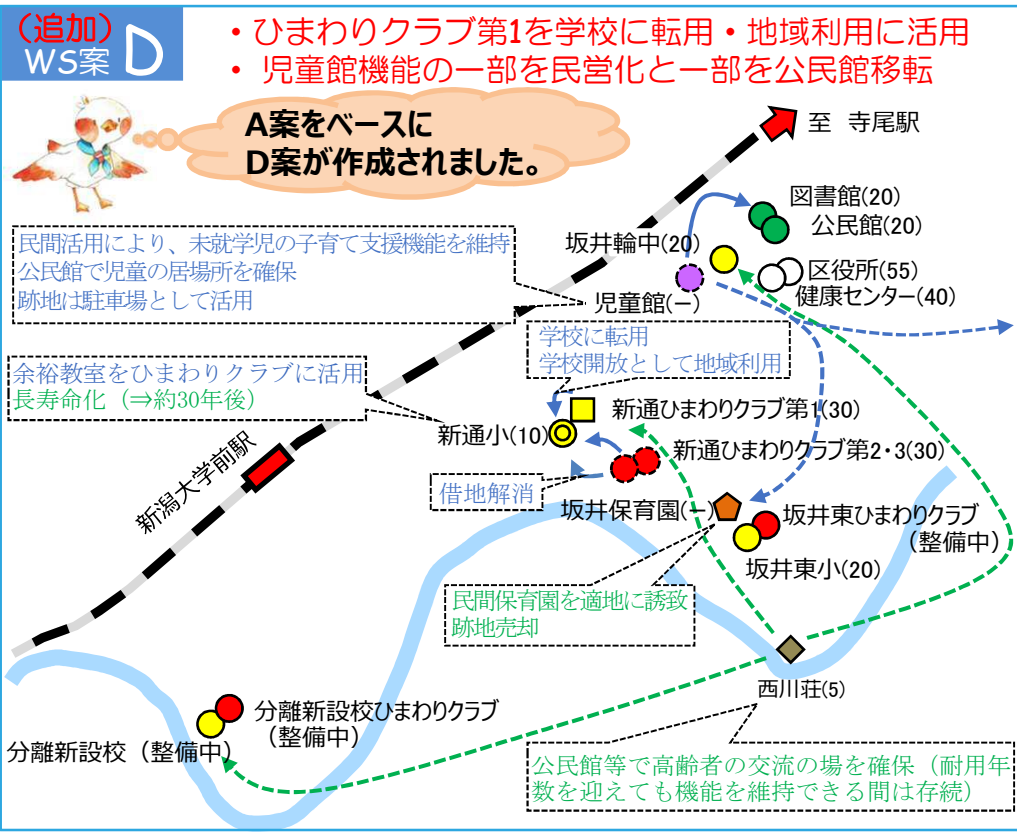
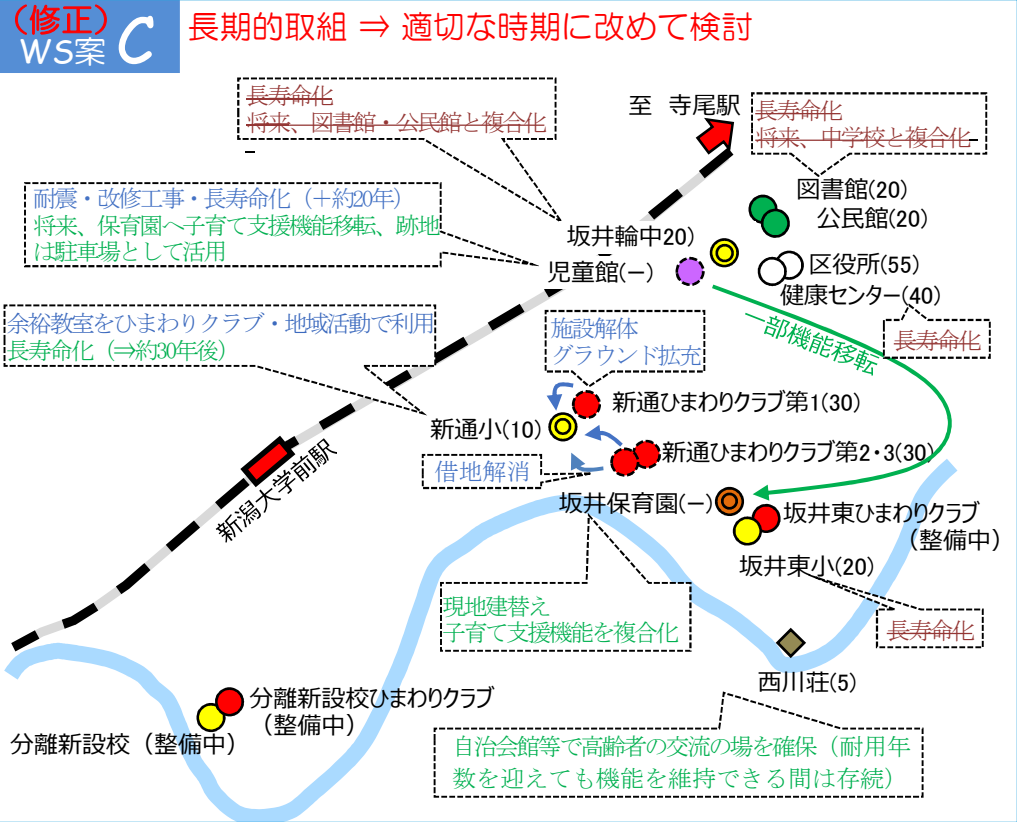
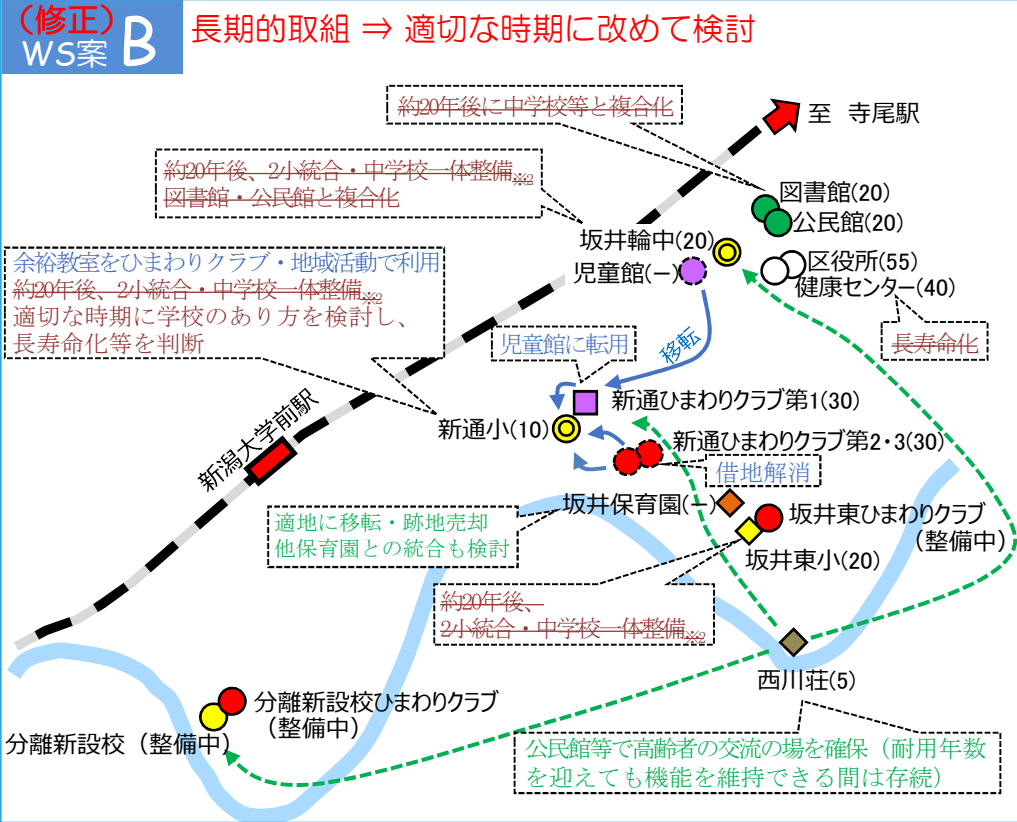
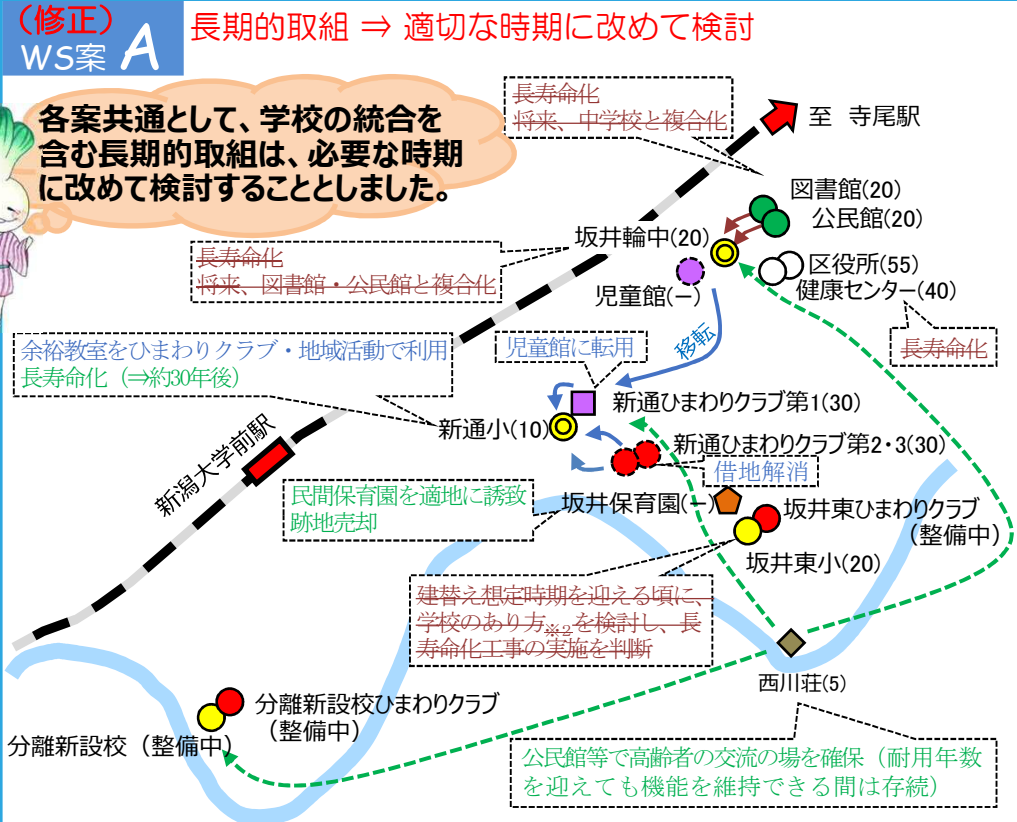
http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/ws.html

第3回ワークショップ(WS)での議論の内容① (対策案)

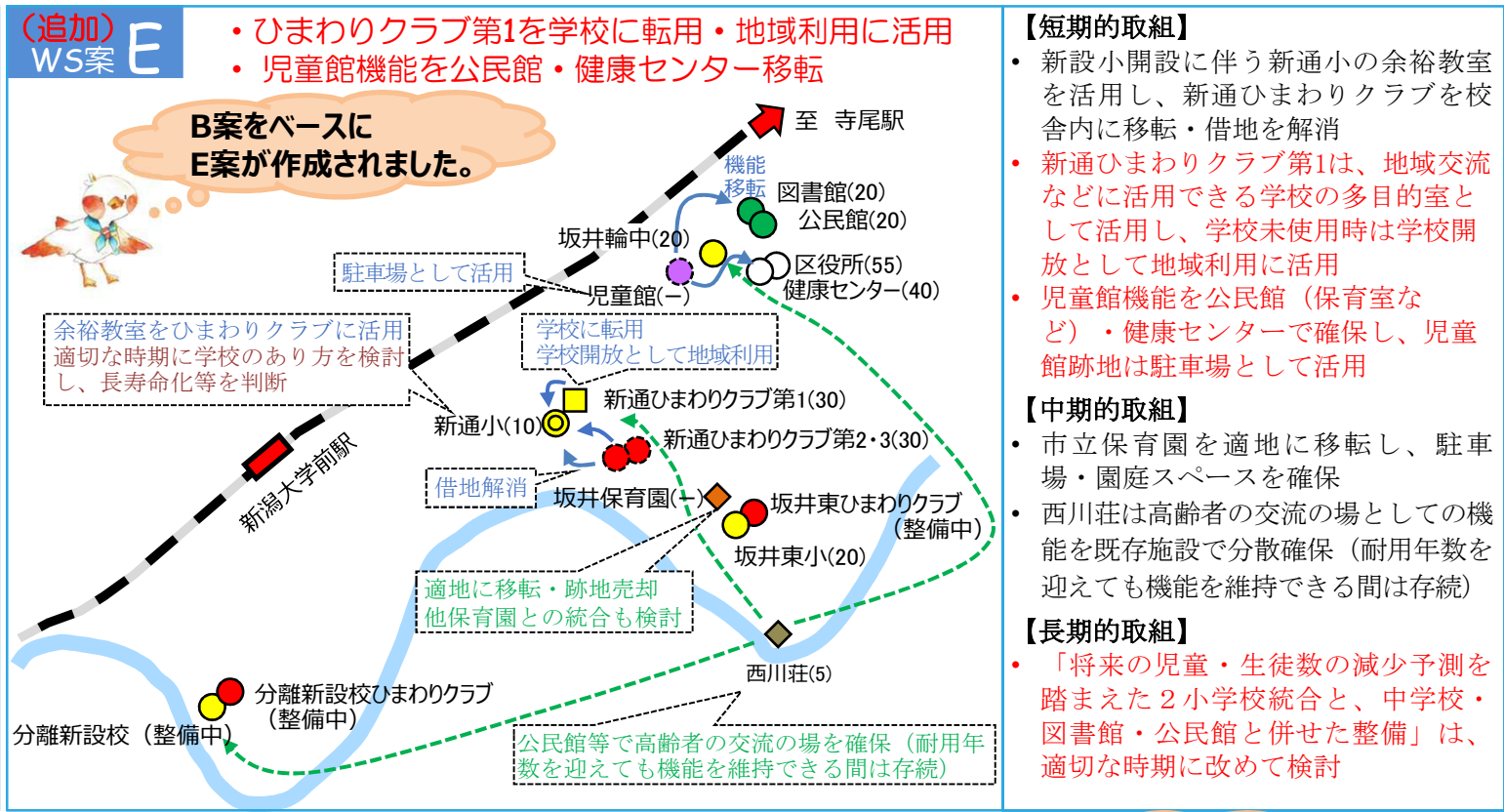
第3回WSでは、第2回WSやコミュニティ会議、パネル展示型説明会の意見をもとに、修正A・B・C案と、新たにD・E案が市より提示され、長所、短所、改善すべき事項を議論しました。

- 凡例**
- 短期的取組 (～5年程度)
 - 中期的取組 (10年程度)
 - 長期的取組 (20年程度～)
 - () の数値：建替え想定時期※1、想定時期が超えている場合は「-」と表記 (例) 20：概ね20年後に建替え
 - ◎ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来 売却・貸付 ○ 存続 ◯ 解体 ◯ 民営化などを検討

- ※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
- ※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。



- 【短期的取組】**
- 新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
 - 新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
 - 児童館の未就学児の子育て支援機能を、民営化する保育園や商業施設に併設するなど、民間活用により機能維持し、跡地は駐車場として活用。併せて、公民館のフリースペースで児童の居場所を確保
- 【中期的取組】**
- 民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保(市立保育園は廃止)
 - 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保(耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続)
- 【長期的取組】**
- 「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



- 【短期的取組】**
- 新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
 - 新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
 - 児童館機能を公民館(保育室など)・健康センターで確保し、児童館跡地は駐車場として活用
- 【中期的取組】**
- 市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
 - 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保(耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続)
- 【長期的取組】**
- 「将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえた2小学校統合と、中学校・図書館・公民館と併せた整備」は、適切な時期に改めて検討

第3回ワークショップ(WS)での議論の内容②(評価案について)

対策案の絞り込みにあたって、評価案を参考に長所や課題を整理しながら議論を進めました。また、地域別実行計画の策定にあたり、配慮しなければならない事項についても併せて議論しました。今後、右記の付帯事項の検討を重ねながら、坂井輪地域の公共施設の方向性を定めた地域別実行計画を策定します。

付帯事項

- 公共施設のアクセス性の安全性確保について
- 全市的な児童館サービス提供のあり方について
- 高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場について
- 運営面の工夫で同一施設で複数の用途での利用について
- 身近な自治会館の有効活用について
- 長期的な取組みについて(学校、公民館、図書館のあり方)と今後の検討の進め方について

対策案の絞り込みの参考として使用した評価案は、HPをご覧ください。(表紙QRコード参照)

「やわ姐」 やわ肌ねぎの イメージキャラクター